

中国遼寧省派遣交流職員レポート③

皆さんこんにちは。

私は今、友好交流職員として中国遼寧省にある瀋陽市というところに来ています。滞在が終わる3月まで何回かに分けて、みなさんに遼寧省のこと、中国での生活や文化についてレポートしていきたいと思います。今回は3回目のレポートです。

○ 春節について○

今回は、中国最大の祭日である春節についてレポートします。

中国では、旧暦（農業暦）の年末年始を春節として祝います。2016年の春節は2月7日から2月13日です。

新年の12時を境に爆竹や花火が街のあちこちで鳴り響きます。翌日以降もどこかで爆竹が鳴っているため、街を歩くと爆竹の後の赤い紙があちこちに散乱しています。

大晦日の日は除夕と呼ばれ、12時を待って爆竹を鳴らした後、守歳（守歳）といって寝ずに年越しを祝う習慣があるそうです。



春節の露店通り（西安）



春節の公園（西安）



春節のデパート



春節の瀋陽師範大学

春節には、春聯という赤い紙でできた飾りや「福」という文字を逆さまにしたものを家の門などに飾ります。

「福」という文字を逆さまにするのは、（福が）来たことを示す「到」と、逆さまを示す「倒」が同じ発音であるため、縁起を担いでいるのだそうです。

春節では、家族で一緒に過ごすのが一般的なようです。家族で一緒に餃子を食べ、服を新調し、子供たちは压岁钱と呼ばれるお年玉をもらいます。

また、春節の前の晩には、中国中央電視台（CCTV）による年越し番組「春節聯歡晚会（春晚）」が放送され、様々な歌手が歌やダンスを披露します。

遼寧省のテレビ局・遼寧電視台でも同様に年越しの番組が放送され、歌やダンス、コントなどで遼寧省の年越しを盛り上げました。



春節の飾り付けが道端で売られている



春節の飾り付け
「福」の字が逆さまのものもあります



街を歩くとあちこちに花火や爆竹の跡があります



爆竹の跡

春節は一斉に実家に帰り家族と一緒に過ごすため、地方への移動が多くなります。

春節の終わり頃には公共交通機関、高速道路は混雑するのでニュースでも大きく取り上げられます。

また、帰省の季節であるためか、CMやテレビなどで親子の絆を強調するようなものが多く見られました。

都会で一人暮らしをしながら一生懸命働いている若者が、帰った実家で父母に会い、温かい言葉をかけられて涙を流すというような内容です。

内容を見るたびに中国の方が家族を本当に大切にしている様子がわかります。

国・暦が違って、日本の年末年始とたくさん共通することがあり、日本での年越しを思い出した春節でした。



街の飾り付けの様子①



街の飾り付けの様子②

今回のレポートは以上です。次回のレポートをお楽しみに！！